

淀川水系流域委員会 第 84 回運営会議 (2007. 1. 22 開催) 結果報告		2007. 1. 26 庶務発信
開催日時	2007 年 1 月 22 日 (月) 10 : 00 ~ 12 : 35	
場 所	ばるるプラザ京都 7 階 スタジオ 4	
参加者数	委員 9 名、河川管理者 3 名	
<p><b>1. 報告の概要</b> : 庶務より報告資料 1 を用いて前回運営会議以降の経過報告がなされた。</p> <p><b>2. 決定事項と審議概要</b></p> <p>各意見書の作成状況について説明がなされた後、意見書の内容や今後のスケジュール、少数意見等について審議がなされた。主な決定事項と意見は以下の通り (例示)。</p> <p><b>①ダム等管理フォローアップ定期報告書への意見について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ダム等管理フォローアップ定期報告書への意見は、ダム毎に意見書を作成する。1/25(木)24 時を締切に担当委員から最終案を提出して頂き、委員長が最終チェック (体裁の統一等) をする。1/26(金)に河川管理者に送信して確認して頂き、第 85 回運営会議(1/27)にて最終版作成のための審議を行う。</li> </ul> <p><b>②水需要管理に向けて、意見聴取反映、水位操作に関する意見書について</b></p> <p><b>○「水需要管理に向けて」について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>タイトルは「意見書 水需要管理の実現に向けて」とする。</li> <li>委員から意見が提出されている。流域委員会の水需要管理や淀川フルプランに関する根本的な考え方に対する意見なので、少数意見として添付するようにしたい。</li> <li>1/25(木)24 時を締切に委員から少数意見を募集する。少数意見の採択は第 85 回運営会議(1/27)に一任する。</li> </ul> <p><b>○「住民参加のさらなる進化に向けて」について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「2-1 河川整備に向けた意見聴取のあり方」(P18)で、河川の利用という観点から関係住民を 3 つに大別しているが、このうち「河川に関わる生活の知恵を有しない住民」という表現に対する修正意見が提出されている。すべての住民が何らかの生活の知恵を有しているため、表現を改めて「その他の住民」に訂正する。また、P20「上述のように、」の後に「おもな」を追加する。</li> <li>1/25(木)24 時を締切に委員から少数意見を募集する。少数意見の採択は第 85 回運営会議(1/27)に一任する。</li> </ul> <p><b>○水位操作に関する意見書について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに寄せられた意見を参考に意見書の修正を行っている。本日中に修正版を委員に送信した上で、明日の WG 作業検討会(1/23)で検討を行う。WG 作業検討会(1/23)の結果を反映した再修正版を 1/24(水)午前中に委員に送信し、1/25(木)24 時を締切に委員から修正意見を頂き、それを反映した最終版を第 85 回運営会議(1/27)にて検討する。</li> <li>「水位操作に関する意見書」に対する少数意見については、第 56 回委員会(1/30)の結果次第だ。必要に応じて臨時運営会議を開催し、少数意見の採択について検討するようにしたい(委員長)。</li> <li>P18 に HP からの引用がなされているが、引用部分と委員会意見の区別がわかりにくい。整理した方がよい。</li> </ul> <p><b>③次期委員会への申し送りについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第 55 回委員会で提出された各地域別部会長の申し送りをもとに、部会長が最終的なとりまとめを作成する。様式は、一覧表形式ではなく、文章でまとめて頂きたい。1/25(木)24 時を締切に提出して頂き、第 85 回運営会議(1/27)にて最終版作成のための審議を行う。</li> <li>ダム統合管理や堤防補強等、地域別部会にあてはまらない項目については委員会の申し送り事項とする。</li> <li>琵琶湖部会の申し送りには、当然引き継がれるものなので、整備内容シートへの意見は入っていない。大きな項目やテーマに関する申し送りを行うのが、「次期委員会への申し送り」だと考えている。表紙でそういった趣旨を述べておく必要がある。</li> <li>←「次期委員会への申し送り」の表紙を至急作成して、地域別部会長に送信する (委員長)。</li> </ul> <p><b>④当面実施すべき施策についての意見について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ダム WG 作業検討会では、補助制度に関する記述について議論がなされた。議論の結果、補助制度については、1 つの項目としてではなく、「おわりに」で触れるように修正することとなった。最終案を作成して 1/23(火)に委員と河川管理者に送信する。1/25(木)24 時を締切にご意見を頂き、第 85 回運営会議(1/27)にて最終版作成のための審議を行う。</li> </ul> <p><b>⑤委員会の休止に際しての声明 (案) について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次期委員会に関する詳細な事柄 (公開性や独立性等) について書くつもりはない。「これまでと同様に、今後も意欲を持って流域委員会と河川管理者でよい川づくりを進めてほしい」といった内容にする。至急、声明(案)を作成したい (委員長)。</li> <li>よい川づくりのために今後も流域委員会や住民とともに努力して欲しいといった声明を出しておくことが大切だ。河川管理者も同じ気持ちだと思う。河川管理者も「流域委員会や住民意見聴取反映が新しいステージに入っていく」という点を明確にした方がよいのではないか。</li> </ul>		

※結果報告は主な決定事項等の会議結果を迅速にお知らせするために庶務から発信させていただくものです。